

## 第2号様式（第3関係）

### 令和4年度第1回豊山町生涯学習推進審議会 議事録

#### 1 開催日時

令和4年8月31日（水） 午前10時～正午

#### 2 開催場所

豊山町役場3階 会議室3・4

#### 3 出席者

##### (1) 豊山町生涯学習推進審議会委員 13名

学識経験者	前田 治	(会長)
学識経験者	堀田 裕子	(副会長)
学識経験者	上原 直人	
教育関係者	千田 秀樹	
教育関係者	小出 芳子	
教育関係者	高山 誠	
教育関係者	安藤 定雄	
教育関係者	柴田 昌治	
教育関係者	伊藤 章代	
関係町民団体代表者	永末 猛	
関係町民団体代表者	浅井 恵子	
ボランティア代表者	村瀬 萌	
一般公募	竹内 智恵子	

##### (2) 事務局 7名

町長	鈴木 邦尚
教育長	北川 昌宏
教育委員会事務局長	安藤 憲司
生涯学習課長	栗山 直樹
教育専門員	小坂井 美衣
生涯学習課生涯学習グループ主事	浅野 圭祐
生涯学習課生涯学習グループ主事	丹羽 拓実

#### 4 議題等

##### 議題

- (1) 【諮問事項】 部活動の地域移行について
- (2) 令和5年度の総合型地域スポーツ・文化クラブの企画・運営について
- (3) 令和3年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の報告について
- (4) 令和4年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の進捗状況について

##### 報告

- (1) 令和4年度社会教育委員研修会について

##### その他

- (1) 生涯学習課の啓発活動について

第2号様式（第3関係）

5 会議資料

令和4年度第1回豊山町生涯学習推進審議会（全24ページ）

6 議事内容

<p>事務局長</p>	<p>本日は、お忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。          定刻となりましたので、「令和4年度第1回豊山町生涯学習推進審議会」を始めさせていただきます。          私は、本日の進行を務めます教育委員会事務局長の「安藤」と申します。よろしくお願ひいたします。          それでは、「次第」に沿いまして進めさせていただきます。          「次第」につきましては、お配りした「会議資料」を1枚めくっていただきますと記載してありますのでご覧ください。</p>
<p>事務局長</p>	<p>はじめに、次第1の「委嘱状の交付」を行います。          机の上に「委嘱状」を置かせていただきましたので、ご確認いただくことで委嘱に代えさせていただきますのでよろしくお願ひします。また、本来であれば4月にお渡しするものでございますが、最初の審議会でお渡しいただくことをご了承いただきますようお願ひします。          なお、任期につきましては、令和4年4月1日から令和6年3月31日までとなっておりますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>事務局長</p>	<p>つづきまして、鈴木町長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>町長</p>	<p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。          平素は教育行政のみならず、町政にご理解とご支援をいただきますこと、この場をお借りして誠に感謝申し上げます。          また、これから2年間委員の就任についてご快諾をいただきまして、御礼申し上げます。          昨年度の審議会につきましては、スカイプールの在り方について、色々協議いただきました。今年はプールを開場したこともあり、スカイプールの在り方については、もう少しお時間をいただいて、最終的に判断していきたいと思っておりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。          今年度は、令和3、4年度の報告と結果を受けて、ご意見を賜りますが、新しく諮問という形で、皆様にご審議をお願いしたいという意向がございます。豊山町の小学校は、令和4年度末をもって部活動を廃止にします。また、中学校についてもあと2～3年で休日の部活動を地域移行するという国の方針が出ております。そういう中で、放課後や土日を含</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>めた子どもたちの居場所づくりに積極的に取り組んでいかなければならないと思っております。これまでも本町としては、放課後や土日の子どもの居場所づくりについては、担当課や他の団体にもご支援いただいておりますが、まだ十分な受け皿になっておりません。新たにどのような仕組みを構築したら、児童生徒の放課後や土日の居場所づくりを、より健全な活動の場として確保できるかが、非常に重要な課題であります。ぜひ、皆様からご意見をいただきながら、より良い豊山町の子どもたちの居場所づくりにまい進していきたいと思っておりますので、忌憚のないご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。本日、またこれから2年間よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局長	<p>つづきまして、次第3の「会長及び副会長の選出」を行います。会議資料21ページに委員の皆様の名簿を、22ページに豊山町生涯学習推進審議会条例を掲載しております。同条例の規定により、委員の互選で選出をお願いします。どなたかご推薦はありますか。</p>
委員	<p>会長には昨年度、生涯学習推進審議会の会長を務められた前田治委員、副会長には社会教育審議会の会長を務められた堀田裕子委員が適任だと思います。</p>
事務局長	<p>ただ今、会長には前田治委員、副会長には堀田裕子委員が推薦されましたが、いかがでしょうか。          よろしければ、拍手でご承認ください。          ありがとうございます。会長には前田治委員、副会長には堀田裕子委員ということでご承認いただきました。          それでは、前田委員、会長席へ移動をお願いします。          ここで、町長から会長に諮問書をお渡しします。町長は会長席の横へ移動をお願いいたします。          &lt;町長より諮問書が会長に手渡しされる&gt;</p>
事務局長	<p>ありがとうございます。町長は他の公務がございますので、これにて退席させていただきます。</p>
事務局長	<p>本日は、新しい委員になり、初めての会議ですので、各委員の皆様より一言自己紹介をいただきたいと思います。          前田会長から順番をお願いします。          &lt;前田会長から名簿順で自己紹介&gt;</p>
事務局長	<p>次に、事務局の紹介をします。          北川教育長、栗山生涯学習課長、小坂井教育専門員、浅野主事、丹羽主事、そして私が教育委員会事務局長の安藤です。          どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局長	<p>次に、本町では「議事録等の作成に関する指針」により、</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>審議会等の議事録はホームページに掲載させていただきます。議事録は、発言者名をふせ要点筆記で作成したものに署名をいただき、掲載をすることになります。</p> <p>後ほど、会長から議事録署名委員が指名されますので、会長と委員の2名で、議事録の内容を確認していただきます。それでは議題に入らせていただきます。</p> <p>本日の会議は委員15名中13名の出席をいただいておりますので、過半数に達しておりますので、豊山町生涯学習推進審議会条例の規定により会議は成立しております。</p> <p>議題につきましては、同条例の規定により、会長の取り回しをお願いします。</p> <p>なお、議題等の説明につきましては、議事を円滑に進行させるため、着座にて行いますので、あらかじめご了承くださいませようお願いします。</p> <p>それでは、会長よろしくお願いします。</p>
会長	<p>議題に入ります前に、議事録署名委員の指名ですが、柴田昌治委員を指名しますのでよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、次第4の議題（1）「【諮問事項】部活動の地域移行について」、事務局より説明を願います。</p>
事務局（課長）	<p>会議資料（P1～5）に基づき説明</p>
会長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、この議題に関して、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>豊山中学校の部活動を豊山町の生涯学習の総合型地域スポーツ・文化クラブに入れ込むという流れで良かったのでしょうか。</p> <p>バスケットボールが総合型地域スポーツ・文化クラブには入っていないので、それをどうするのか。部活は体験してから加入しますので、中学校1年生はほぼ100%入部となりますが、この資料を見ると平日ではなく土日になるので、どのように体験させるのかということと、部活の試合の場合、現在は先生が引率して、保護者は見に行くだけですが、部活動が地域に移行すると、保護者や役員の送迎等が関わってきますので、そのあたりが課題になるかと思えます。加えて5ページの課題の中で、コロナ対策と熱中症対策も入れ込んだ方がいいと思えます。</p> <p>まずは、中学校の部活の動きと、地域スポーツの動きを一覧化し、見やすくしていただきたいと思えます。</p> <p>また、4ページの各種団体で、豊山町にはスポーツ推進委員といった団体もありますので、ここに加えていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>部活の体験方法、引率の関係の問題、コロナ・熱中症への配慮、スポーツ推進委員の関わりの話が出ましたが、事務局</p>

第2号様式（第3関係）

	<p>からの説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局（課長）</p>	<p>地域移行に関して、国はまず休日から進めた上で平日にもという提言であります。</p> <p>総合型地域スポーツ・文化クラブに移行という話をしておりますが、それは代表的なものであって、必ずそれに移行するわけではありません。現在、国が全国102市町村で地域移行に関する実践研究をしております。その成果の報告書を見ますと、総合型地域スポーツ・文化クラブに移行している自治体が40%、他は教育委員会や体育協会、民間のスポーツ事業者が受け皿となっているところがあります。愛知県では、春日井市と大口町が研究に参加しており、春日井市は、教育委員会が主体となり、学校の先生に別途時間給を払い再雇用という形で、部活動に参加していただいている形をとっております。また、大口町では、総合型地域スポーツ・文化クラブがやっておりますが、生徒が総合型地域スポーツ・文化クラブに入っているのではなく、総合型地域スポーツ・文化クラブから指導者を部活動に派遣しているという形をとっております。</p> <p>今後、豊山町でどのような形が必要なのか、総合型地域スポーツ・文化クラブだけでなく、他の選択肢も含めて検討していきたいと思っております。</p> <p>また、体験方法ですが、今の部活動をそのままもっていくのか、色々な選択肢を増やすのか、これも今後の検討課題だと思います。活動場所、移動手段の方法、大会の送迎という課題も考えていきたいと思っております。</p> <p>最後にスポーツ推進委員ですが、行政が委嘱している豊山町の組織の委員なので、ここに記載がございません。</p>
<p>教育長</p>	<p>委員から今回の課題の核心に迫った質問をされましたので、私の方から少し補足をさせていただきます。</p> <p>国からの方針は部活動の地域移行で、この地域とは学校以外と受け止めています。全国に約1,730の自治体がありますが、それぞれの団体がそれぞれの事情があり、様々な受け皿を持っております。これが答えというものはなく、およそ1,700通りのやり方があると思っております。</p> <p>豊山町においては、スポーツ少年団、体育協会、文化協会など長い歴史を持った団体がございます。新しいボランティア団体、またウインドオーケストラという新しい団体も立ち上がりました。そのような団体が協力し合って、学校の休日の部活動をどこがどのようにして受け止めるのか、また、ど</p>

	<p>のようにすれば子どもたちのためになるのか議論していきたいと思っております。事務局も皆様のような関係団体にお諮りをしながら、知恵を絞っていきたくと思っております。</p> <p>私達が受け皿として立ち上げた総合型地域スポーツ・文化クラブも一つの選択肢だと思えます。そして、様々な選択肢と共に豊山町の地域移行方式のようなものが確立すればよいと思えます。また、3年を目標としておりますが、3年で結論が出る程、簡単な問題ではありません。どの団体も長い年月をかけて成長してまいりましたように、同じように部活動の地域移行についても時間と労力をかけて、検討していきたいと思えます。</p> <p>また、スポーツ推進委員ですが、かつては体育指導員という名称で、スポーツ基本法に基づいた地方公共団体が委嘱する特別職であります。つまり、行政側の委員ですので、あえてこの表には記載しておりません。ご理解いただきたいと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>地域移行は、令和7年度末に土日という理解でよろしいでしょうか。平日はまだ先の事であれば、例えば、スポーツ少年団の野球では、中学校の野球部を中心として、入団費と毎月の活動費を負担していただき、スポーツ少年団に入ってもらっております。中学校の活動時間以外で、豊山グラウンドを利用し活動しております。学校を利用する時もありますが、地域移行という事になれば、道具は学校の備品を共有して使用できるようになるのではと思えます。野球に関しては、土日限定であれば協力できる体制は整うかと思えます。</p> <p>サッカー等他の団体については、はっきりとしたことは申し上げられませんが、平日となると、指導者が仕事をしておりますので、毎日ではできないと思えます。</p> <p>部活動は、私たちも昔お世話になっておりますし、今後も子どもたちにそのような機会を与えてあげたいと思っております。</p> <p>基本的には中学校の部活動は全入制になっておりますが、この中で先ほどの委員もおっしゃるとおり、バスケットボールは誰が指導できるのか、スポーツ少年団であれば野球、サッカー、バレー、卓球はこの中にあるように思えます。</p> <p>また、この中不在のスポーツは指導者として手を挙げていただける方がいらっしゃると思えますが、よく考えながらやっていただければと思えます。</p> <p>今後、スポーツ少年団として協力できるのかどうかは、ス</p>

	<p>ポーツ少年団の指導者会議等ありますので、そちらの方でも検討させていただきたいと思います。</p> <p>やはり、野球が部活動以外でスポーツ少年団の活動で行っている背景といたしましては、子どもたちが暇になり、学校の活動に押し寄せたり、どこか勝手に遊びに行ってしまうたり、親から何とかならないかという意見をいただいて補完する活動を始めたということであります。土日もそのような集まりで活動を行った方が、子どもたちの健全な育成には役に立つと思いますので、続けていきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ただ今発言された、お二人の委員の意見はまさにその通りだと思います。</p> <p>スポーツ少年団との連携の他に熱中症やコロナ対策、体験問題というご意見もありましたが、とても重要な課題であると思いますが、このことはもう少し次の段階で考えるとして、部活動の地域移行をどういう骨組みで検討していくかが一番の議論だと思います。仮に、総合型地域スポーツ・文化クラブに落とし込む案や、総合型地域スポーツ・文化クラブから派遣しようという案がありますが、私の意見としては、今の中学校の部活をそのまま残してあげたいと思います。総合型地域スポーツ・文化クラブでみると、色々なことができるという部分では、素晴らしいと思います。そこに無理やり押し込むような骨組みでいくのか、当面土日限定であれば、スポーツ少年団との連携を取りながら、例えば保険や送迎のようなノウハウもどこのクラブチームもあると思います。今ある部活動をそのまま活用しながら、かつ豊山町として総合型地域スポーツ・文化クラブという多目的に学べる施設も活用する、ダブル運営がよいのではないのでしょうか。</p> <p>また、外部派遣に関しては沢山の他地域がやっているもので、例えばバスケットボールを教える指導員が見つからないわけではないと思います。</p> <p>小学校の先生がクラブチームの活動をされているのもあるので、指導員に関しては、こういう骨組みでいくと決まれば、人材確保できるのではないかと思います。無理やり既存の形に落とし込むのではなく、今ある部活動と総合型地域スポーツ・文化クラブを分けて考えた方がいいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>指導者については、今までの先生の兼職・兼務の手続きの緩和の動きもありますので、活動したいという方は土日にやりやすい環境になっていくのではと思います。指導の難しい種目については、新しい指導者を探していくというのが大き</p>

第2号様式（第3関係）

	な課題だと思えます。
委員	<p>3つお聞きしたいことがあります。</p> <p>1点目、小学校の部活動について、先程委員からご指摘のあったバスケットボールは、部活動が廃止された今、現在バスケットボールをしていた子どもたちはどうしているのか。</p> <p>2点目、地域で受け皿をと言った時の、地域の中に、豊山町としては他の市町と連携するという事とも考えているのかどうか。</p> <p>3点目、5ページの課題で制度的に整えていけば解決していくこともあれば、(7)・(8)で頑張っている生徒をどう評価していくのか、教員との関係性についてなど、現時点でどのような課題解決案をお持ちであるのか、もしお持ちであればお聞かせいただきたいです。</p>
委員	<p>(8)の希薄化に関しては、学校側の課題だと思えます。</p> <p>教師の方々は部活がなくなったから、生徒とのコミュニケーションをどのように図るかという課題であって、生涯学習課の課題ではないように思えます。</p>
教育長	<p>(7)・(8)は、豊山町でできることではありませんが、部活動の存在意義に関連して、確かに部活動を通じて指導の中で生かされてきたということもありますので、制度設計をする際はそのようなことにも配慮したやり方をしなければならぬと思えます。</p> <p>また、関連諸制度で高校入試の資料ということもありますが、これは国全体あるいは都道府県の県立高校、私立高校がどのように変わっていくのか、逆に私たちが投げかけてあげなければいけないと思えます。多様性の社会ですので、こういうことを見て高校入試の在り方も検討していかなければと思えます。休日の部活動が高校入試に影響するのであれば、そのことを大きくアピールしなければいけないと思えますし、色々な問題があると思えます。</p> <p>新栄小学校のバスケットボールは、今年中はまだやっています、その後どうするかまでは至っておりません。</p> <p>一つの課題として、今あるサッカーやバスケットなど同じ種目で受け皿を作るのか、全く別の種目で子どもたちの居場所を作りとしての受け皿を作るのか、議論しなければいけない点だと思えます。</p> <p>小学校の部活動については、愛日地区で調べておりますが、すべての市町村が小学校の部活動をやっていたわけではなく、特にこの西春日井地区は小学校の部活動について積極</p>



第2号様式（第3関係）

	<p>的に関与しておりますが、既に他の地区の市町では当初から小学校の部活動をやっていないところが大半であると同っております。そのような流れの中で、例えば、豊山町に赴任してきた先生が小学校でも部活動をやっているのですねというような声も上がっております。西春日井地区の方針として段階的に廃止しようという話が数年前からあって、今年度末に一度収束するということでもあります。</p> <p>もともと教員の多忙化解消、学校の働き方改革という側面が非常に多く、その面でこの議論が始まったので、その点から考えると、先生の働き方について他の市町村との均衡を保つ必要があるのではないかという観点から結論を出したということもあると思います。</p>
委員	<p>名古屋市では、外部から来て色々なスポーツを毎日日替わりでやっているという事例もあり、全く部活をやっていないことはないと思います。名古屋市のスタイルのように、色々なスポーツを楽しめると、将来的に発育に良いと聞いておりますので、もう少しシンプルに決定ができないのかと思います。</p>
教育長	<p>学校としての部活動なのでしょうか、それとも、市として委託しているのでしょうか。</p>
委員	<p>民間企業に委託して、その指導員の方がサッカーやバスケットを教えるという民間のクラブアカデミーが増えてきていると思います。名古屋市は、そういうところを活用し、ある程度の骨組みができていますので、そのような情報共有ができるといいのではと思います。</p>
教育長	<p>先進的な事例は大いに参考にしていきたいと思います。</p>
会長	<p>議題（1）の部活動の地域移行について、国の動向という全体像については、皆様と共有できたと思います。どこの市町も動きがあり、進み具合はそれぞれであります。課題は大きく示されたのだと思います。</p> <p>この課題を一つずつ検討していく形になりますが、ここまでのおおよその全体像と課題についてはご了解いただけたでしょうか。</p> <p>部活動の事で、中学校としてご意見あればお願いします。</p>
委員	<p>休日の部活動は年度も区切られて、ここまでにという話が出てきていますが、私たちも中学校の部活動を体験してきましたが、部活動は普段の授業やクラスと関わってきた人たちとは違う関係がそこで築けて、それは非常に価値が高いものであると思います。しかし、その考えは一度捨て去る必要が</p>

	<p>あると思います。将来的に中学校の部活動は地域に移行しても、学校では例えば小学校のクラブ活動のような関りができる時間は取れるであろうと思います。そして、最終的に部活動は無くなるという将来像を描く必要があると思います。では、そのようにすると、資料に書かれているような学校生活の希薄化が課題になりますが、これは別視点から見ると、学校内の固い人間関係から脱して、自分の居場所を社会の違う場所に作るができるかと考えると、学校と違う人間関係ができるということは、部活で培ってきた以上に素晴らしいことがあるのではないかと考えております。では、そこに向かって移行していくにあたり、どのようにするかということですが、平日は指導が難しいからまずは休日からという議論で進んでおりますが、そこまで見据えて改革をしていかないといけないと思います。そして、すでに他の地域で行っている事例からすると、中学校の部活をそのまま移行することが1つになりますが、今ある部活動の組織と部員をすべてそのまま地域に移行するにあたり、子どもの継続性を考えると、先生と地域の連携が大切だと思っております。また、もう1つのやり方として、部活とは別に、地域の新しい組織に入るというものもあります。では、そのようにすれば、学校・地域管理や保険、高校への推薦等の課題はありますが、私の個人の意見としては、別組織の方がやりやすいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>部活動指導は全てボランティアでなおかつ、部活動のユニフォーム、道具、活動場所、備品、移動手段、保険まで全て学校持ちです。</p> <p>スポーツ・文化的活動はレクリエーションで、手間と時間と費用がかかります。休日の活動に関して、文科省は令和7年度までに地域移行するとし、また、その活動は学校教師の仕事ではないと提言しております。中には、部活動の指導をやりたいという先生もいらっしゃいますが、ただ、この部活動の指導をボランティアであると思われるのには限界があります。</p> <p>中学生に対して、スポーツや文化的活動をさせるということの意識を、地域、家庭全体、親や子供たちにも変えていかなくてはならないと思っております。</p> <p>ウインドオーケストラの例にみるように、ただ部活動をそのまま平行移動させるだけではなく、新たなものを立ち上げる発想で、豊山町としてのいろいろな組織、講座、チームを作る、また町内の学校の先生の活躍しやすいシステム（雇</p>

第2号様式（第3関係）

	用・兼業）も同時に進めていかないといけないと思います。
委員	部活動はいろいろ学べた場所だったと思います。今後、仕組み等は話し合っていくべきことですが、小・中学校で所属の仕方も様々で、たくさんの事に携われるような好きな事探しができ、高校・大学で本格的に取り組むというスタイルでもいいと思います。今の子供達のニーズにあったしくみと、メリットが感じられる事を準備し、広報や保護者への情報提供方法もしっかり考えていくとよいと思います。
委員	そのままの移行より、新しい組織で送迎・ユニフォーム・保険等を有料化して新しい組織で行うということは、とても大事だなと思いました。 サッカー、バスケットボール、野球に関しては、地域にはクラブチームという、ほぼボランティアでやっているような団体、部活動に近いような団体もあるので、こちらを有料化してしまうと、そこが相対するという懸念材料になるかと思っています。 指導者に対しての費用など町が負担していただければと思います。
会長	理想と現実との戦いになってくるとは思いますが、それぞれの理想、個人個人が持っている理想もあれば、全体的な理想もあり、色々な考え方で決めていき、いざ1つ立ち上げると考えると非常に難しいと思いました。あくまで決定ではなく、試行錯誤しながら、よりよいものにしていくために、1つアクションを起こしていく、その手掛かりとして、土日の部活動の受け皿を検討していきたいと思っています。全体像と課題について、豊山町が取り組む姿勢については、皆様承認いただけますでしょうか。承認いただける方は、拍手をお願いいたします。 (拍手) 全員の拍手により議題（1）は承認されました。
会長	つづきまして、議題（2）「令和5年度の総合型地域スポーツ・文化クラブの企画・運営について」、事務局より説明願います。
事務局（主事）	会議資料（P7～P8）に基づき説明
会長	ただいま事務局から説明がありましたが、この議題に関して、ご意見、ご質問はありませんか。
委員	種類・選択肢が多いのは、とても楽しい事だと思いますが、定員割れもあります。定員数の変更などは、随時検討されているのでしょうか。

第2号様式（第3関係）

事務局（主事）	定員数に届いてない講座もありますが、アンケート調査を行い、好評をいただいているので、継続という形にはしております。定員の数ですが、コロナの状況を踏まえて随時変更しております。
事務局（課長）	少し補足ですが、定員数につきましては、コロナということもありますが、指導者の方の受け入れ可能な人数に設定しております。そのため、この人数を超えた場合にどのようにするのか、例えば指導者の数を増やすか、回数を増やすか等を考えていきたいと思っております。
委員	わくわくくらぶの陶芸に携わっておりますが、非常に好評で、12名が指導者の見られるぎりぎりの数です。指導者の高齢化というのが現実問題となっております。部活動が移行するという事で中学生も来てくれるのではという期待もあります。養成という点で、中学で続け、高校生で指導者になっていくというような若い人の育成にもつながれば良いと思っております。
会長	指導者の育成問題も出てくると思っております。事務局から何かありますか。
事務局（課長）	陶芸に限らず、他のクラブでも指導者の高齢化は、現実問題となっております。例えば講座の中で、指導者の育成も合わせてやっていき、そこで学んだ知識等をわくわくくらぶに還元するという学びの循環ができればと考えております。
教育長	子ども会のジュニアリーダーは、小学生の時の経験を活かして、中学・高校になって指導者へという流れができています。良ければ紹介してもらえますでしょうか。
委員	ジュニアリーダーは中学生以上が対象で、現在、中学生から大学生までの人が所属しています。一番メインなのが中・高生で、その子たちが小学生に、お兄さんお姉さんの立場で、遊びの場を提供しています。わかりやすい例ですと、防災キャンプは、大人たちは防災のことに手がかかるので、子どもたちのお世話までできないため困ってしまうという時に、遊びの場を提供していただければ、中・高生で子どもの面倒を見ることにより、大人はテントの設営や食事に専念できるという補助的な活動をしております。そして、大学生は教え方のわからない中・高生に、今まで中・高で学んだ事を教えるというボランティアの団体になっております。
教育長	1つのヒント・在り方ではないかと思っております。それを陶芸に置き換えると上手くいくのではと思い紹介させていただきました。

第2号様式（第3関係）

事務局（課長）	吹奏楽部は中学校にはありますが、その先はないという状況から、新たにウインドオーケストラが立ち上がりました。活躍する場ができて、次は小学生に教えるという学びの循環を構築できるように、来年度わくわくくらぶに吹奏楽の設置を提案しております。これが、ひとつのモデルケースになって、他の種目も同じような形でやっていきたいと思っています。
会長	<p>先進の総合型地域スポーツ・文化クラブの中には、異年齢交流があり、さらにそこからの指導者養成プログラムに移行していくというのが、先進の総合型地域スポーツ・文化クラブの中には位置づけられているものもあります。それも視野に入れながら、良いものにしていきたいと思えます。</p> <p>他にご意見よろしいでしょうか。</p> <p>議題（2）につきまして、承認いただける方は拍手をお願いいたします。</p> <p>（全員の拍手あり）</p> <p>全員の拍手により議題（2）は承認されました。</p>
会長	つづきまして、議題（3）「令和3年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の報告について」、事務局より説明願います。
事務局（主事）	会議資料（P9～P12）に基づき説明
会長	ただいま事務局から説明がありましたが、この議題の朱書きに関して、ご意見、ご質問はありませんか。
委員	放課後子ども教室が開設されたという事で、豊山町のプログラム・アクティビティの指導者は、わくわくくらぶで指導にあたられている方が、放課後子ども教室でも指導にあたっているのか、それとも別なのかお聞きしたいです。
事務局（課長）	<p>放課後子ども教室は民間に委託しており、色々な体験学習をしております。その中で年に数回、特別体験プログラムを組み、例えばわくわくくらぶの太鼓の指導者をお呼びして、太鼓体験をする等、地域で子どもたちの体験活動に協力いただいております。</p> <p>なお、放課後子ども教室は、今年度から新設された子ども応援課に移管しました。</p>
教育長	放課後児童クラブと放課後子ども教室という厚生労働省と文科省運営の縦割りで行っている事業を、豊山町では子ども応援課に一元化させていただきました。子ども会も同じように、子ども応援課に移管しました。
会長	この議題の朱書き以外に関して、ご意見、ご質問はありま

第2号様式（第3関係）

	<p>せんか。</p> <p>それでは議題（3）につきまして、承認いただける方は拍手をお願いいたします。</p> <p>（全員の拍手あり）</p> <p>全員の拍手により議題（3）は承認されました。</p>
会長	<p>つづきまして、議題（4）「令和4年度豊山町生涯学習のまちづくり実施計画の進捗状況について」、事務局より説明願います。</p>
事務局（主事）	<p>会議資料（P13～P17）に基づき説明</p>
会長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、この議題の朱書きに関して、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
会長	<p>LINE講座は、何をしますか？</p>
事務局（主事）	<p>全4回のなかで、基本的な使い方からグループ通話を学び、LINE関連の機能を理解し、最終的にはLINEを使いこなせるようにという講座になっております。</p>
委員	<p>住民ニーズに合わせたとありますが、それはアンケートとかで意見を求めた上でということですか。住民ニーズとは何ですか。</p>
事務局（課長）	<p>色々な講座で、必ずアンケート調査を行うとともに、参加者の方の声を必ず聞くようにしており、アンケートや会話形式という方法で、皆様の声を聞き、住民ニーズに合わせたものを提供しております。</p>
会長	<p>他はよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>Zoom講座があると、多くの人とつながれて、自分の意見も発信でき、勉強になるかと思えます。</p> <p>新しくなった郷土資料室においても、入館者情報をデジタル化して、今後に活かしたら良いのかなと思えます。</p> <p>新聞に掲載という点も、豊山町をはじめ他の市町にも発信ができ、非常に盛り上がっていることが分かります。これを中日新聞だけでなく、朝日新聞、読売新聞などにも掲載検討をされると良いかと思えます。</p>
事務局（課長）	<p>Zoom講座ですが、参加者の方の意見も聞きながら、できたら良いと思えます。パソコン講座に盛り込むのも良いのではないかと思えます。</p> <p>郷土資料室は、リニューアルしたばかりですので様子見ですが、今の基本的な形はそのまま、年に3回の企画展で、色々な企画ができれば良いと思っております。</p> <p>マスコミには、中日新聞に限らず、全社に提供していただき、取り上げていただくのは中日新聞が中心となっております。</p>

第2号様式（第3関係）

	ます。その中で、ウインドオーケストラはNHKに取り上げていただき、良い情報発信ができたと思っております。
会長	議題（4）につきまして、承認いただける方は拍手をお願いいたします。 （全員の拍手あり） 全員の拍手により議題（4）は承認されました。
会長	つづきまして、次第5の「報告（1）令和4年度社会教育委員研修会について」、事務局より説明を願います。
事務局（主事）	会議資料（P18）に基づき説明
会長	つづきまして、次第6の「その他」、事務局から何かありますか。
事務局（主事）	会議資料（P19～P20）に基づき説明
会長	その他に関して、ご意見、ご質問はありませんか。
委員	生涯学習講座の申込み方法の往復はがきの検討をお願いしたいと思います。今世代の方が気軽に申し込める方法であれば、参加者も増えるのではないかと思います。
事務局（課長）	全世代で使用できる方法、往復はがきを含めた簡単な申込方法を、検討させていただきたいと思います。
会長	多くのご質問・ご意見ありがとうございました。他に委員の皆様からは何かございませんか。
会長	それでは議題につきましては、これをもちまして終了いたします。 皆様のご協力により、議案のご承認賜り、ありがとうございました。
事務局長	会長、議事の進行ありがとうございました。 本日は長時間にわたり、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。 これをもちまして、第1回豊山町生涯学習推進審議会を終了させていただきます。